

# ESDがSDとなるには? ～ESDのメインストリーム化にむけて～

現代社会において、社会の持続可能性、地域の持続可能性について危機感が強まっています。そのなかで、ESD(持続発展教育)の重要性が高まりつつあり、学習指導要領においても実施が明記され、教育におけるメインストリーム化が提唱されています。日本では ESDの推進拠点としてのユネスコスクール数が 800校を超える、一見その浸透が進んでいるように思えます。しかし、その多くで活動頻度や質の低下が見られ、ESDが SDではない(持続発展しない)という現実があります。

本シンポジウムでは、ESDのメインストリーム化に向けて、何が必要なのかを少人数のグループ形式で議論したいと思います。

**日時: 2015年2月27日 17:00~19:00**

**場所: 福井大学 教育系1号館 大講義室**

## プログラム

**当日参加OK・参加無料**

**【開会挨拶】福井大学 副学長 寺岡英男**

**【ESD最新状況紹介】金沢大学 教授 鈴木克徳**

**【趣旨説明】福井大学大学院 特命准教授 前園泰徳**

**【グループ討議】ESDとは何か? なぜ浸透していかないのか?**

**【持続発展への提言】金沢市 キゴ山少年自然の家館長 池端弘久**

**【グループ討議】メインストリーム化に必要なことは?**

共催: 福井大学、一般社団法人 大学コンソーシアム石川

後援: 福井テレビジョン放送株式会社、ふくいユネスコ協会

